



布垣部会長(左)と末廣執行役員京都支店長(右)

目標はお客さま評価日本一

損害保険ジャパンの歴史を辿ると、1888年創業の東京火災に由来します。それから124年、組織改変、合併などを経て2002年7月から現在の社名になりました。前身の東京火災は日本初の火災保険会社としてスタートしましたが、ユニークなことに火消し組をもつていて、契約者の家の門や軒先には真鍮版のプレートに火消しの象徴である「とびぐち」をデザインしたシンボルマークを貼りつけ、火災が発生すると火消し組がポンプ車と共に駆けつけてその家を守る、という仕組みがありました。今でも京都のいくつかの有名寺院の総門や町家には、この「とびぐち」マークが残っているそうです。

支店は1898年開設で114年の歴史があり、「京都支店に着任できたことはたいへん光栄なことです」と昨年4月に赴任した末廣執行役員京都支店長。「お客さま評価日本一」を目標に掲げ、お客様と接する代理店と一緒に最高品質のサービスの提供に取り組みでおられます。また病院の車いす整備や鴨川清掃を実施されるなど地域貢献活動にも力を入れておられます。

こんにちは!
〇〇部会です

部会長の部会員訪問
金融部会編

地域に根ざした
損保会社を目指して

株式会社損害保険ジャパン
京都支店

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆さまを訪問いたしております。今回は、金融部会の布垣部会長が、(株)損害保険ジャパン 京都支店を訪問し、末廣執行役員支店長にお話を伺いました。

常に新しいことにチャレンジ

支店の約7割が女性社員。女性の活躍推進を経営戦略として新しいことにもチャレンジされています。そのひとつが昨年4月、支店に設置された「女性中心の営業店」。女性職員の視点や経験を活かして積極的に代理店・お客様との接点を持ち、ニーズを汲み取りそれに応えることで、お客様に一層の安心をお届けできる体制を整えておられます。

また昨年12月実施の京都検定では、支店で受験者を募り団体受験いただきました。末廣京都支店長は「これからは全国にある他の支店にも広げていきたいですね」と思いを語られました。

布垣部会長からは、「金融部会は支店・支社の事業所が多く、2〜3年で転勤されるので、京都を学んでいただけるような事業に力を入れていきます。京都のことを深く知ることによってビジネスにも役立てていただきたい」とアドバイス。末廣京都支店長からは、「普段では知ることができない奥深い京都を体験できる素晴らしい機会があり、これからも楽しみにぜひ参加したい」と抱負を述べられました。

金融部会のご紹介

〈部会長〉布垣 豊(京都中央信用金庫 理事長)
〈部会員数〉181件(平成24年12月18日現在)

本所の部会の中で最も部会員数が少ない金融部会ですが、部会活動には毎回、多くの部会員が参加します。部会活動のテーマは、ズバリ「京都を知る」。金融部会でしか体験できない京都の魅力をお届けしています。京都を愛する皆様、ぜひ積極的なご参加をお待ちしております。

【金融部会の平成24年度事業】

8月 視察・交流会(御寺泉涌寺、はり清)
11月 懇親ゴルフコンペ
3月頃(予定) 視察・交流会

【お問合せ】

金融部会 事務局
(京都商工会議所 会員部)
TEL: 075-212-6410
E-mail: kaiinbu@kyo.or.jp